



## 平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月13日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東  
 コード番号 5018 URL http://www.moresco.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤田 民生  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 大村 洋一 TEL 078-303-9010  
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日 配当支払開始予定日 平成29年11月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	13,549	3.4	1,091	5.0	1,175	9.8	681	7.4
29年2月期第2四半期	13,097	0.4	1,039	△2.9	1,070	△8.9	634	△10.5

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 747百万円 (-%) 29年2月期第2四半期 △35百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	70.37	—
29年2月期第2四半期	65.56	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第2四半期	25,397	16,080	56.2	1,476.09
29年2月期	25,317	15,594	54.7	1,433.28

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 14,281百万円 29年2月期 13,856百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	20.00	—	25.00	45.00
30年2月期	—	20.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,700	7.6	2,600	9.5	2,900	9.1	1,850	15.6	191.31

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年6月29日を払込期日とする譲渡制限付株式報酬としての新株式発行7,800株を行っております。「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式発行後の発行済株式数（自己株式数を除く）により算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
 新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期2Q	9,675,800株	29年2月期	9,668,000株
② 期末自己株式数	30年2月期2Q	648株	29年2月期	648株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期2Q	9,670,050株	29年2月期2Q	9,667,390株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

平成29年10月24日に当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
(1) 製品およびサービスに関する情報	8
(2) 海外売上高	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の持ち直しにより、緩やかな回復基調が継続するとともに、堅調な雇用情勢を受けて、個人消費も緩やかな回復に転じました。また、世界経済の回復を背景に、当社グループの進出拠点である中国、東南アジア、米国経済についても総じて堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、売上高は13,549百万円（前年同期比3.4%増）となりました。利益面では、原材料価格が上昇に転じたことに加え、減価償却費およびシステム関連費用等で販売費及び一般管理費が増加した一方で、有利購買の推進や製品収率向上等コスト低減活動が奏功し、営業利益は1,091百万円（前年同期比5.0%増）、経常利益は1,175百万円（前年同期比9.8%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は681百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### ①日本

##### （特殊潤滑油）

主要顧客である自動車関連では、国内生産台数が前年同期比プラスで推移する中で、主力のダイカスト用油剤、切削油剤および熱間鍛造潤滑剤は新規顧客の獲得等により売上を伸ばした一方で、連結子会社のエチレンケミカルでの自動車用ケミカル製品の売上は、顧客での在庫調整および輸出の減少により、前年同期を下回りました。特殊潤滑油全体では前年同期並みの実績となりました。

##### （合成潤滑油）

高温用合成潤滑油は、当社顧客による自動車のベアリング用グリースの輸出が前年後半以降好調に推移したことにより、また、ハードディスク表面潤滑剤は高価格品への移行が進んだこと等により、売上は共に前年同期を上回りました。

##### （素材）

流動パラフィンは、販売数量が全般的に堅調に推移したことに加え、原材料価格の上昇に伴う販売価格の改定により、売上は前年同期を上回りました。

##### （ホットメルト接着剤）

主力の衛生材用途での売上が前年同期並みで推移した一方で、粘着、自動車および空気清浄機フィルター向けの売上は、既存顧客での増販および新規顧客獲得により前年同期を上回りました。

以上の結果、当セグメントの売上高は10,230百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は685百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

#### ②中国

小型車向け減税策縮小により自動車生産台数の伸びは鈍化したとはいえ、前年同期比プラスで推移する中で、作動油、ダイカスト用油剤および切削油剤等特殊潤滑油の売上は前年同期を上回りました。また、ホットメルト接着剤についても、衛生材用途および空気清浄機フィルター向けの売上が増加した結果、前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は1,584百万円（前年同期比16.4%増）、セグメント利益は142百万円（前年同期比32.3%増）となりました。

#### ③東南アジア

自動車生産台数が前年同期比プラスで推移する中で、作動油、ダイカスト用油剤および切削油剤等特殊潤滑油の売上は前年同期を上回りました。また、ホットメルト接着剤についても新製品の投入等により、売上は前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は2,228百万円（前年同期比10.7%増）となり、原価低減も奏功し、セグメント利益は246百万円（前年同期比13.3%増）となりました。

#### ④北米

年初以来、自動車販売台数が前年同期比減で推移する中で、主力のダイカスト用油剤等特殊潤滑油の売上は前年同期並みで推移した一方で、スルホネートの売上は顧客での在庫調整等により前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は408百万円（前年同期比5.3%減）となり、人員増による人件費の増加および企業買収に係る費用の発生等により、セグメント損失は3百万円（前年同期は25百万円の利益）となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,604	2,881
受取手形及び売掛金	6,776	6,808
商品及び製品	2,212	2,179
原材料及び貯蔵品	1,676	1,772
その他	411	440
貸倒引当金	△27	△26
流動資産合計	13,652	14,055
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,049	2,994
機械装置及び運搬具(純額)	1,759	1,704
土地	2,426	2,425
その他(純額)	630	692
有形固定資産合計	7,863	7,815
無形固定資産		
のれん	856	793
その他	674	637
無形固定資産合計	1,530	1,430
投資その他の資産	2,272	2,098
固定資産合計	11,665	11,343
資産合計	25,317	25,397
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,233	4,012
短期借入金	1,726	2,167
未払法人税等	315	224
賞与引当金	506	481
その他	1,123	827
流動負債合計	7,903	7,711
固定負債		
長期借入金	1,190	889
退職給付に係る負債	384	400
その他	245	318
固定負債合計	1,819	1,607
負債合計	9,722	9,318
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,091	2,098
資本剰余金	1,951	1,958
利益剰余金	9,537	9,999
自己株式	△1	△1
株主資本合計	13,577	14,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69	67
為替換算調整勘定	290	232
退職給付に係る調整累計額	△81	△73
その他の包括利益累計額合計	279	226
非支配株主持分	1,738	1,798
純資産合計	15,594	16,080
負債純資産合計	25,317	25,397

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	13,097	13,549
売上原価	8,727	8,863
売上総利益	4,369	4,685
販売費及び一般管理費	3,330	3,594
営業利益	1,039	1,091
営業外収益		
受取利息	10	7
受取配当金	11	9
持分法による投資利益	114	103
補助金収入	57	—
その他	45	19
営業外収益合計	237	138
営業外費用		
支払利息	11	9
為替差損	191	29
その他	5	17
営業外費用合計	207	55
経常利益	1,070	1,175
税金等調整前四半期純利益	1,070	1,175
法人税、住民税及び事業税	266	299
法人税等調整額	37	58
法人税等合計	303	356
四半期純利益	766	819
非支配株主に帰属する四半期純利益	133	138
親会社株主に帰属する四半期純利益	634	681

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
四半期純利益	766	819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	△3
為替換算調整勘定	△750	△69
退職給付に係る調整額	9	8
持分法適用会社に対する持分相当額	△76	△7
その他の包括利益合計	△801	△72
四半期包括利益	△35	747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9	628
非支配株主に係る四半期包括利益	△26	119

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,070	1,175
減価償却費	499	560
持分法による投資損益(△は益)	△114	△103
退職給付に係る資産又は負債の増減額	74	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20	△25
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△27	△0
受取利息及び受取配当金	△21	△16
支払利息	11	9
売上債権の増減額(△は増加)	△104	△73
たな卸資産の増減額(△は増加)	201	△87
仕入債務の増減額(△は減少)	△73	△196
その他	△20	△276
小計	1,475	963
利息及び配当金の受取額	132	286
利息の支払額	△12	△10
法人税等の支払額	△243	△394
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,352	845
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	92	△164
有形固定資産の取得による支出	△733	△382
無形固定資産の取得による支出	△8	△25
投資有価証券の取得による支出	△1	△3
貸付金の純増減額(△は増加)	1	1
その他	△6	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△655	△579
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△477	588
長期借入れによる収入	650	—
長期借入金の返済による支出	△443	△449
配当金の支払額	△193	△243
非支配株主への配当金の支払額	△22	△52
その他	△19	△12
財務活動によるキャッシュ・フロー	△505	△168
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	161	115
現金及び現金同等物の期首残高	2,043	2,482
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,204	2,596



## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日。以下「回収可能性適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間から適用し、繰延税金資産の回収可能性に関する会計処理の方法の一部を見直しております。

回収可能性適用指針の適用については、回収可能性適用指針第49項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点において回収可能性適用指針第49項(3)①から③に該当する定めを適用した場合の繰延税金資産および繰延税金負債の額と、前連結会計年度末の繰延税金資産および繰延税金負債の額との差額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加算しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、繰延税金資産(その他流動資産)が18百万円、繰延税金資産(投資その他の資産)が9百万円、利益剰余金が24百万円、非支配株主持分が3百万円それぞれ増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,335	1,345	1,995	421	13,097	—	13,097
セグメント間の内部 売上高又は振替高	756	16	17	10	799	△799	—
計	10,091	1,361	2,012	431	13,896	△799	13,097
セグメント利益	650	107	217	25	999	40	1,039

(注) 1. セグメント利益の調整額40百万円には、セグメント間取引消去29百万円、たな卸資産の調整額12百万円および貸倒引当金の調整額△1百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,414	1,505	2,225	404	13,549	—	13,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	816	79	4	4	903	△903	—
計	10,230	1,584	2,228	408	14,451	△903	13,549
セグメント利益又は損 失(△)	685	142	246	△3	1,069	22	1,091

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額22百万円には、セグメント間取引消去33百万円、たな卸資産の調整額△10百万円および貸倒引当金の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## (1) 製品およびサービスに関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年四半期比(%)
化学品事業	13,522	103.5
特殊潤滑油	6,013	100.7
合成潤滑油	1,410	107.7
素材	1,729	103.8
ホットメルト接着剤	3,566	105.6
その他	804	107.6
賃貸ビル事業	27	100.0
合計	13,549	103.4

## (2) 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	4,604	472	43	5,119
II. 連結売上高(百万円)				13,549
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	34.0	3.5	0.3	37.8

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール

北米……………米国、メキシコ

その他……………アラブ首長国連邦、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。